

## 【小鮎小学校】説明会における質問・意見等の概要

### 1 参加人数

日にち	会場	時間	参加人数
令和4年10月10日(月・祝)	小鮎小学校体育館	10時～	22人
		14時～	9人
		17時～	1人
		合計	32人

### 2 意見提出用紙による意見等提出件数

提出件数	3件
------	----

### 3 質問・意見の概要

○…質問 ●…意見・要望 △…説明会后、意見提出用紙等で提出された質問等

→…質問に対する回答

※同趣旨の質問や意見については、とりまとめて記載しています。

※「質問」については、市の回答を併せて記載しています。「意見・要望」及び「説明会后、意見提出用紙等で提出された質問等」については、今後の取組の参考とさせていただきます、市の回答は記載していません。

#### 【質問】

(取組の考え方・進め方・スケジュール)

○ 小鮎小学校の南棟の建て替えが5年後に迫っているということだが、今回、適正規模・適正配置の取組で統廃合という方策も検討するとあるが、これは建て替えの期限が迫っているので、統廃合をどうするか決めなくてはならないということなのか。

→ 施設の建て替えと適正規模・適正配置の方策は基本的には別の取組となります。建て替えの時期を迎えるので統廃合するといった考え方はございません。一方で、施設整備を効率的・効果的に実施していくためには、今後、地域において学校がどうあるべきかが整理されていることが重要だと考えていますので、検討の時期については、施設の再整備時期も踏まえながら進めていきたいと考えています。

(教育環境)

○ 仮に統廃合という方策を検討される場合、今後どちらかの学校に統合して

いくということなのかもしれないが、その場合、小鮎小学校又は飯山小学校の施設に全ての児童を収容できるだけの教室数はあるのか。

→ 仮に令和9年度に両校が統合した場合、学級数は18学級程度になる見込みです。その場合、小鮎小学校については現状の施設で18学級の教室を用意することが可能ですが、飯山小学校については教室数が不足することが見込まれるため、新たな施設整備等が必要になる可能性があります。

○ 仮に学校が統合する場合はPTAも統合になると思うが、PTAが一つになれば、保護者1人当たりの負担がかなり減るのではないかと思うがその辺りについて、どのように考えているのか。

→ 資料にも記載いたしました。アンケート調査の結果で、小規模な学校ではPTAの負担が大きくなるといった回答が多数寄せられましたので、学校規模が大きくなった場合、その辺りの負担も軽減するのではないかと考えられます。

○ 小鮎小学校の施設は令和9年度に耐用年数を迎えるとのことだが、建て替えることは決まっているのか。そして、この建て替えは、将来的な学校の統合を見据えたものなのか。また、小鮎小学校を建て替えている期間中は一時的に飯山小学校に通学するという考え方はあるのか。

→ 耐用年数を迎えた施設は基本的には使用しないという考え方を定めていますので、建て替えていくことが計画で定まっています。ただ、建て替えは、本取組で方策として位置付けている学校の統廃合を見据えて実施しているものではなく、あくまでも耐用年数を迎えた施設の更新という考え方にに基づき実施するものとなります。また、建て替え期間中に別の学校に通学するという方法は現時点では検討しておりません。

○ 小鮎小学校の南棟がもうすぐ耐用年数を迎えることは分かったが、南棟とは別に、他にもすぐに耐用年数を迎える棟があるのかを知りたい。他の棟もすぐ目標耐用年数を迎えるとなると、学校施設として機能するのかということが気になる。

→ 他の棟について、仮に南棟と耐用年数が近い場合については、一体的に整備することになるかと思いますが、小鮎小学校については、そうした状況ではないと認識しています。

#### (通学関係)

○ 仮に統廃合して小鮎小学校に通学する場合、上飯山が一番遠くなるかと思

うが、その場合どの程度時間が掛かる見込みなのか。また。地区の東側だと千頭の辺りが一番遠くなると思うが、どの程度掛かる見込みなのか。

→ 仮に統廃合し、小鮎小学校に通学する場合、上飯山が一番遠くなる見込みで、上飯山バス停から小鮎小学校までは 50 分程度掛かる見込みです。また、千頭橋付近からは 40 分程度掛かる見込みです。

○ 仮に小鮎小学校と飯山小学校が一つの学校となる場合、徒歩での通学は厳しいと思うが、市としてはスクールバスを運行させることも検討しているのか。

→ 仮に学校の統廃合を実施する場合、小学校では、通学距離が遠くなることは保護者の皆様が非常に懸念される部分かと思います。通学距離や時間が長くなる場合等については、スクールバスという手法も含めて検討させていただきたいと考えています。

#### (その他)

○ 市で若年世帯への住宅取得補助等を実施しており、それに加えて児童の人数が少ない地域などに補助額を加算するなどの対策を実施していると思うが、そういった施策について効果は出ているのか。

→ Q&A 5 ページにも記載させていただいていますが、市では『まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定して、児童等への医療費助成や保育士の確保、住宅取得補助などの施策を実施することで、出生率の向上、定住促進、雇用の創出に取り組んでいるところです。施策の効果として、近年転出の抑制などの成果が出ているものと認識しています。しかし、一方で、国の推計では 2060 年度までに我が国の人口は 9,300 万人程度まで減少するとの推計が出されています。そうしたことを考えると、市として人口増加の施策を図ることはもちろんですが、一方で、そのような現実も見据えながら、様々な施策を実施していく必要があるものと考えています。

○ Q&A 3 ページにも記載されているが、現在、国が 35 人での学級編制を進めている。資料に記載されている推計などは、中学校まで 35 人学級編制になるという前提で作成しているのか。

→ 学級数の推計等については、現行の学級編制の基準に基づき算出していますので、小学校については 35 人、中学校については 40 人で計算しています。なお、今後、国が学級編制の基準を見直す場合は、本市の方針についても見直しの検討を行う予定です。

- 説明の中で今後公共施設の更新・維持管理費用が約 422 億円不足するとの話があったが、これは全く余裕がないというものなのか。仮に小鮎小・飯山小・小鮎中学校が一つの学校となって建て替えることができれば、費用面でも負担が軽くなるかと思うが、その辺りについて何か考えはあるのか。
- 公共施設の更新・維持管理に係る費用やそれに対して充当できる財源等について説明させていただきましたが、充当できる財源については、過去の実績や今後の人口推計を基に推計を行っており、これらを踏まえて着実に取り組む必要があるものと認識しています。また、仮に小・中学校の統合や複合化により施設数が減少した場合、維持管理や施設更新費用の抑制につながるものと考えています。

### 【意見】

#### (教育環境)

- 地域住民と学校との連携を深められるように公民館も複合化できれば良いのではないかと。小鮎地区には小・中合わせて 3 校あるが、一つの公民館区でまとまっているという特性もあるので、その点をいかして教育環境の向上に取り組んでもらいたい。
- 小鮎小学校の学校施設が令和 9 年度に耐用年数を迎える。また、小鮎中学校も令和 12 年度に耐用年数を迎えるということで、その時期になったら建て替えを検討することになるかと思う。建築から 60 年経過しているとなると結構老朽化が進んでいると思うので、この機会に全部建て替えてもらいたい。  
また、可能であれば 1 学年から 9 学年までが同じ施設で一貫して学ぶ、厚木市初の小中一貫校を整備することを要望したい。

#### (通学関係)

- 仮に小鮎地区内で統廃合を実施した場合、地域内が広く、通学距離が長くなってしまふ。現在の場所に住むことを決めたのも、学校まで安全に通学できることを見据えて決めた。仮に飯山小学校に通学することになった場合は、裏道などで危険性が高い箇所などもあり心配である。通学の安全性について十分に配慮しながら検討してもらいたい。
- 通学路の安全対策をお願いしたい。具体的には、歩道が狭い箇所があったり、タブレット端末が導入されたりして、ランドセルが更に重くなってしまふことにも留意していく必要がある。

### 【意見提出用紙による意見等】

#### (取組の考え方・進め方・スケジュール)

△ 大変な事業になると思うが、最終的には学校の維持管理経費が減り、子どもの教育に直結する人件費や教材費などに掛けられるようになれば、それが一番好ましい。

△ 子どもの「義務教育」というものに、コストや効率性を求めること自体が問題であり、自由な「子どもの成長」を阻害する。

学校はコミュニティの存続や発展の中核的施設であり、避難所機能を有する。

市公共建築物全体の更新・維持管理費用で約 422 億円の財源が不足する見込みとあるが、厚木市は不交付団体であり、いたずらに財政不足を持ち出すのは、住民や保護者の意識を変えようとする作為を感じる。

学校統廃合計画を止めることが必要。当事者である親が子どものために存続を求めるのは権利。義務教育とは「教育を受ける権利」。行政がその権利を制限することは絶対にあってはならない行為。

#### (通学関係)

△ 統廃合を検討していく中では、3 km以内だけでなく、通学路の高低差、道の広さ、歩道の確保なども考えて、低学年などは、スクールバスの検討、送り迎えをしやすいよう学校に駐車場を整備することなどを考えて、安全面を十分に考慮して小学校の通学環境を整えてほしい。